

ISOI クリニカル試験 提出症例

1枚目は表紙を添付
氏名を記入
背景は白または黒

歯科医院名：〇〇歯科

歯科医師名：〇〇〇〇

受験会場：2024年 東京

資料提出日： 年 月 日

履歴書

氏名：歯科医師名

所属：〇〇歯科医院

所在：〇〇県

免許取得日：

ISOI入会日：

インプラント経験年数：

下記インプラントの経験あり

システム名：	使い始めた：	本数：
--------	--------	-----

システム名：	年月日：	本数：
--------	------	-----

システム名：	年月日：	本数：
--------	------	-----

経験があるインプラント、
埋入本数を記入してください

上記内容について真実であることを誓います。

患者に問い合わせる時に私の住所を知らせることに同意します。

年月日：

署名：

診療所の印：

署名、診療所印の画像を添付

No.1

全スライドの左上には
症例番号を記載してください

症例ドキュメント（表紙）

症例の最初には表紙を付ける

症例番号： 1

①患者名：

②生年月日： 性別：

③初診日 年月日：

④補綴終了 年月日：

⑤使用したインプラントと治療部位：

⑥補綴・上部構造：

⑦治療法・オーグメンテーションなど（使用した材料の種別：製品名でも可、なども記入）

⑧なぜその治療法やインプラント体を選んだのか

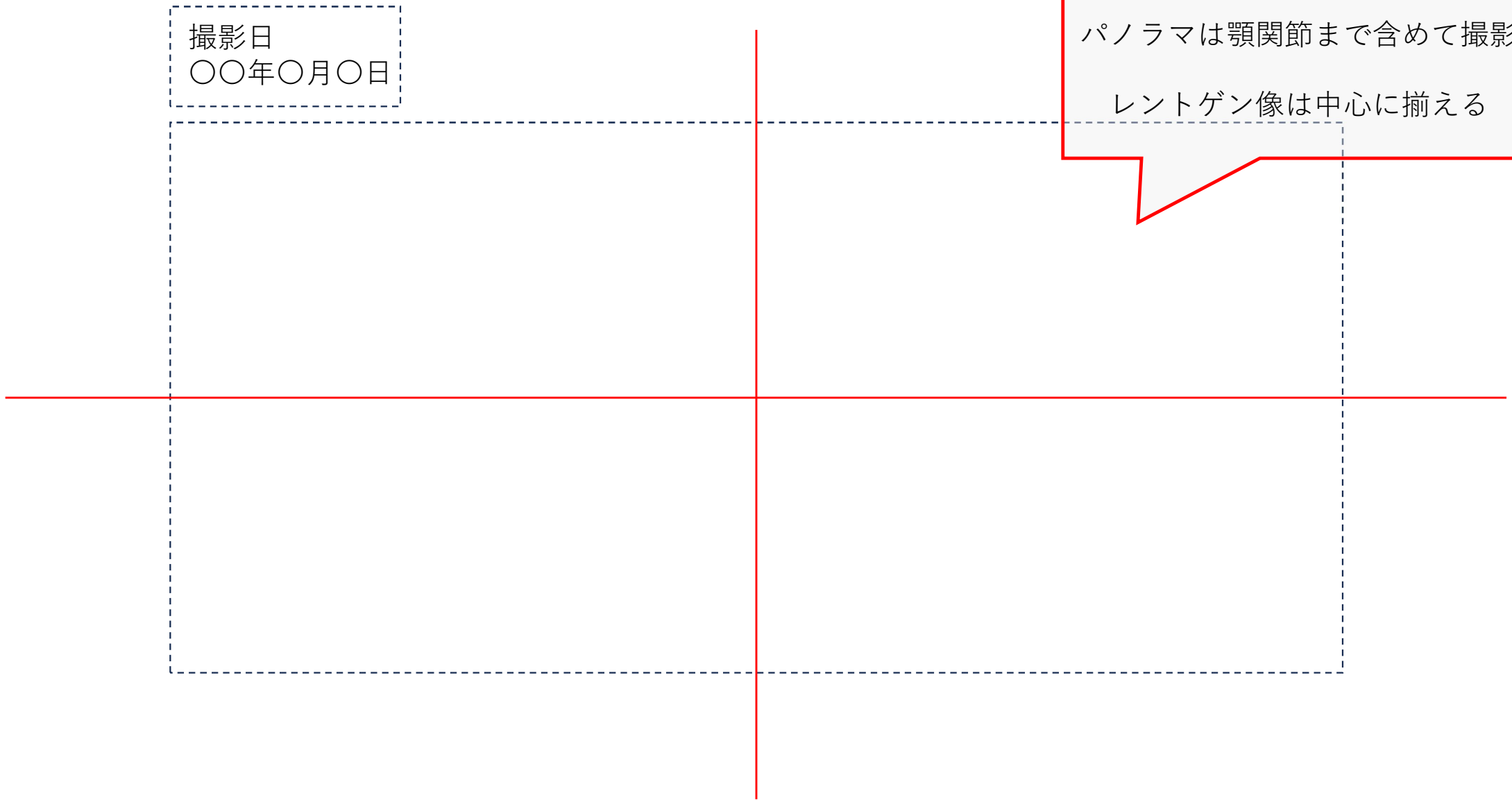
症例番号 1～20番は、
表紙
初診時パノラマレントゲン
補綴後3年以上経過パノラマレントゲン
のみご提出下さい。

No.1

初診時 パノラマレントゲン

撮影日
〇〇年〇月〇日

パノラマは顎関節まで含めて撮影
レントゲン像は中心に揃える

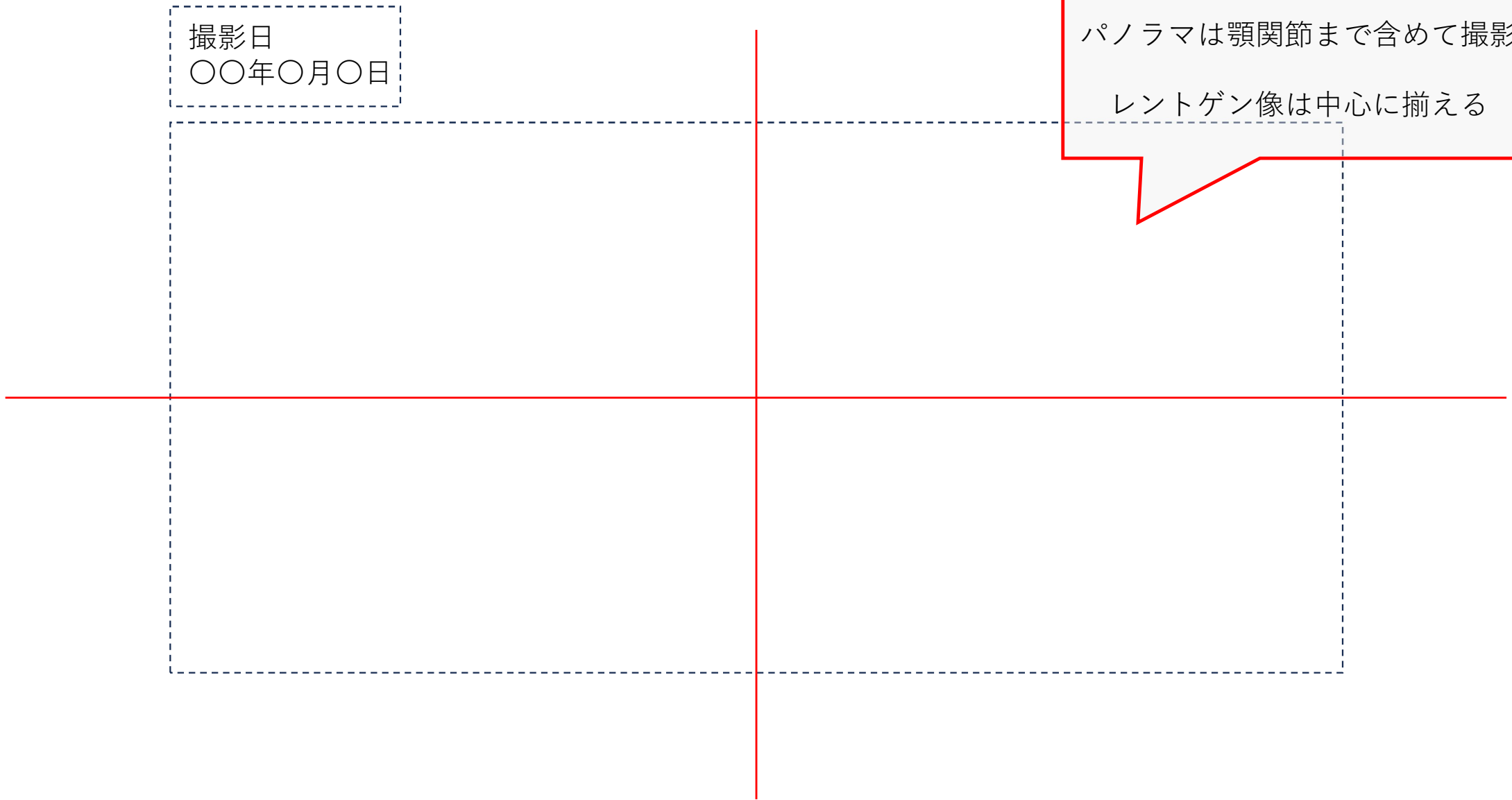


No.1

補綴後○年目 パノラマレントゲン

撮影日
○○年○月○日

パノラマは顎関節まで含めて撮影
レントゲン像は中心に揃える



No.02

症例ドキュメント（表紙）

次の症例 冒頭は表紙から

症例番号：02

①患者名：

②生年月日： 性別：

③初診日 年月日：

④補綴終了 年月日：

⑤使用したインプラントと治療部位：

⑥補綴・上部構造：

⑦治療法・オーグメンテーションなど（使用した材料の種別：製品名でも可、なども記入）

⑧なぜその治療法やインプラント体を選んだのか

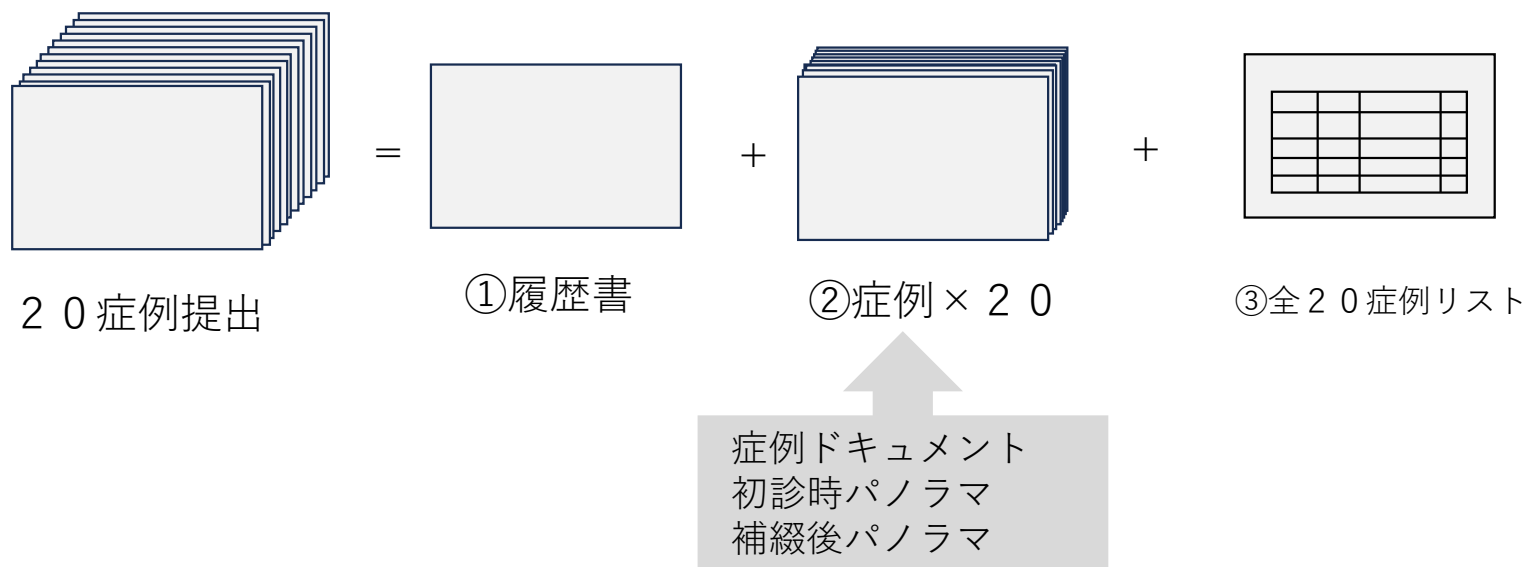
20症例リスト

※スライドの最後に
20症例リストを添付

番号	患者氏名	初診日	性別	部位	上部構造	補綴終了日
1	Tarou Isoi	2021.10.01	M	36	Zirconia Crown	2024.12.01
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

番号	患者氏名	初診日	性別	部位	上部構造	補綴終了日
1 1						
1 2						
1 3						
1 4						
1 5						
1 6						
1 7						
1 8						
1 9						
2 0						

<スライド全体の順序と構成>



症例番号： 1

①患者名： 田中 一郎

②生年月日： 2000年1月1日 性別： 男性

③初診日 年月日： 2010年1月1日

④補綴終了 年月日： 2013年1月1日

⑤使用したインプラントと治療部位： 16部 （使用したインプラントメーカー）

⑥補綴・上部構造： Zirconia Crown

⑦治療法・オーグメンテーションなど（使用した材料の種別：製品名でも可、なども記入）

： サイナスフロアエレベーションクレスタルアプローチ

サイトランsgラニュール（使用した骨補填剤を記載）

⑧なぜその治療法やインプラント体を選んだのか

欠損部骨頂から上顎洞底までの距離が7mmで、上顎洞内に異常所見はなく、クレスタルアプローチで挙上することで、10mmのインプラント体が埋入できるため。ショートインプラントで骨造成を行わない治療計画では、患者の年齢を考慮した長期の予知性や、咬合力に起因する・・・

初診時 パノラレントゲン

SAMPLE

撮影日
2024年09月19日

顎関節が写っていない
パノラレントゲンはNG!



補綴後 8 年目 パノラマレントゲン

SAMPLE

撮影日
2024年09月19日

パノラマは顎関節まで含めて撮影

